

たくさんの人が
「同じことを考え」ていても
各自自分の考えを出し合うと
当然ひとりひとりの表し方は違うから
その場にたくさん、少しずつ「違う考え」が集まってくる
そうすると
ひとりひとりが、出てきたたくさん考えを自分なりにまとめて
各自それなりに納得できる「私の今の考え」にたどり着く
ひとりひとりの「今の考え」は
いずれまた
たくさんの人たちの考えや新しい見方に触れて考え直されて
変わってゆくし、多分、もっと良くなる
学ぶとは、こういうことの繰り返し
だから、誰でもいつでも学んでいるし
誰の学びにも終わりが無い

三宅 なほみ

自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト 令和4年度活動報告書
「協調が生む学びの多様性 第13集—学びの過程に学び、学びの明日を描く—」

執筆・編集 白水始 飯窪真也 齊藤萌木 三宅なほみ

執筆協力 木戸俊吾 堀公彦 相良好美

令和5年3月15日

本報告書は、科学研究費助成事業挑戦的研究（萌芽）「校内研修における授業研究の支援方略に関する研究—モデルの開発・実装・効果検証」（19K21748、研究代表者 飯窪真也）の助成を受けて刊行しました。

本報告書及び付属DVDの内容を無断で複製、転載することはご遠慮ください。

一般社団法人教育環境デザイン研究所 CoREF プロジェクト推進部門

〔連絡先〕 contact@ni-coref.or.jp

※一般社団法人教育環境デザイン研究所は、全国の小中高等学校と連携して学習科学に基づく協調学習の授業づくり実践研究（CoREF プロジェクト）を推進する研究者のネットワークの中核となる組織です。